

# Maxon®

## 6 CHANNEL MIX MASTER PX-160A

取扱説明書

このたび、マクソンのパワーアンプ内蔵6チャンネルミキサーPX-160Aをお買上げいただきまして誠にありがとうございます。

お使いになる前に6チャンネルミキサーの性能を充分発揮して頂く為に、又思わぬトラブルを未然に防ぐ為に、この説明書を最後までお読みいただき、正しい取扱い方法をご理解の上でフルに機能を発揮させ、末永くご愛用下さい。

### 〈目次〉

ご使用前に	2
ブロックダイアグラム	3
コントロールパネルの名称と使い方	4
背面/パネルの接続	6
背面/パネルの名称と使い方	7
特 性	8
保護回路について	8
仕 様	9
サービスについて	10

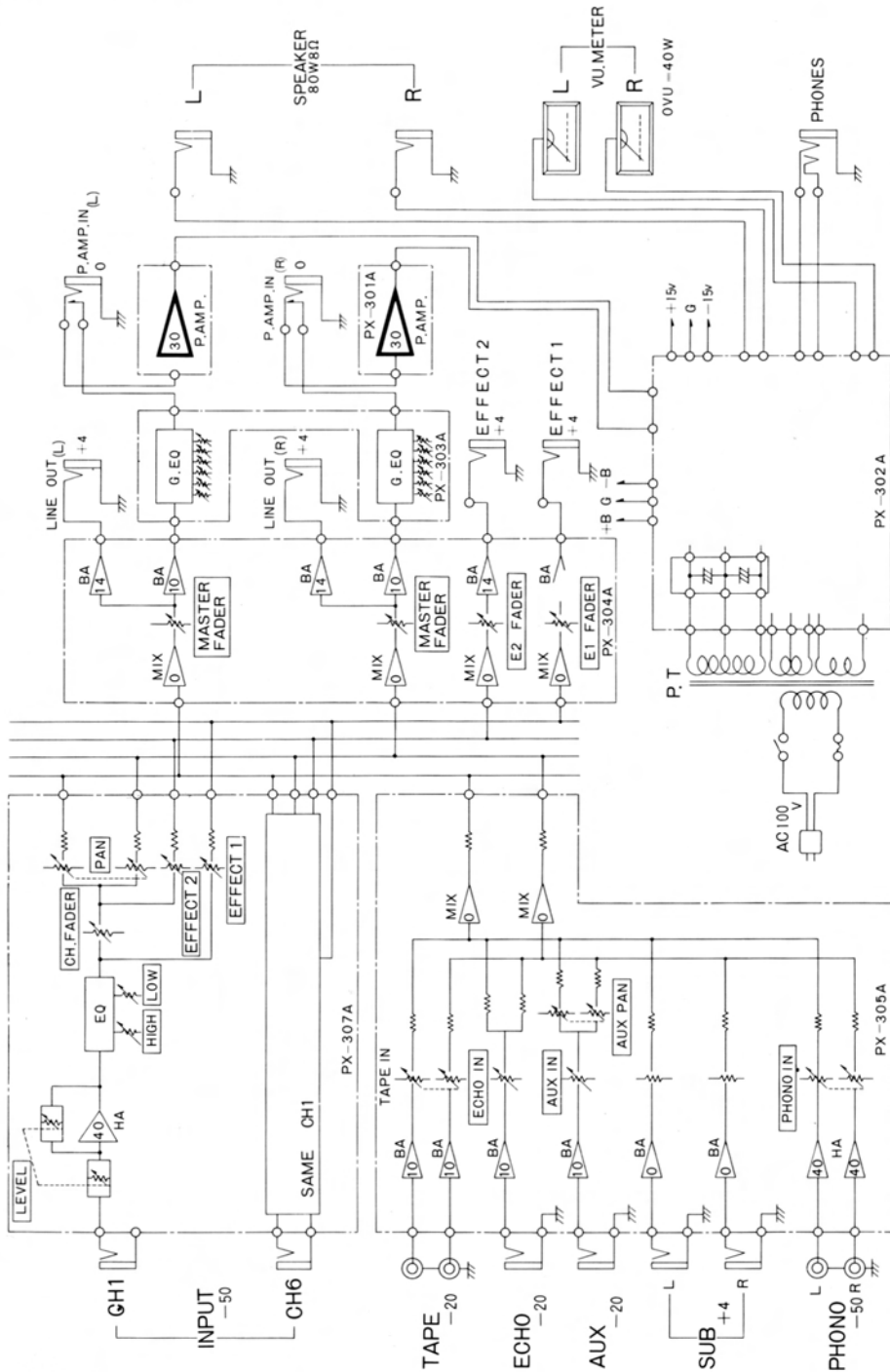
### 〈特長〉

- 出力110W+110W(4Ω負荷)のパワーアンプを内蔵しています。
- 入力レベルは+4dB~-50dBまで連続可変でき巾広く入力に対応できます。
- EFFECTを2系統備えエコーモニターに使用できます。
- 特別仕様の60mmフェーダーによりデリケートなコントロールが可能です。
- テープレコーダー(TAPE IN)、レコードプレーヤー(PHONO IN)、有線放送(AUX IN)がそれぞれ独立して使用できます。
- 2台並列接続の為に端子(SUB IN)を備えているのでチャンネル増設の時便利です。
- 音質補正用の6バンドグラフィックイコライザーを備えています。
- 大型VUメーターにより出力のチェックが容易にできます。

### 〈ご使用上の注意〉

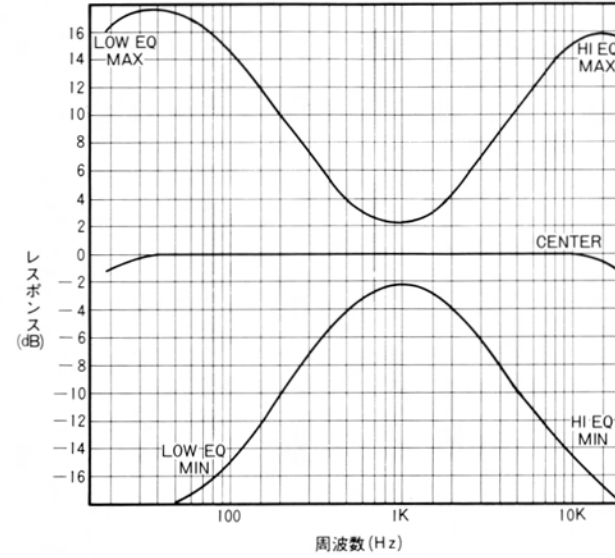
- 100V専用です。  
本器は100V専用ですので、もし100V以外の電源でご使用になる場合は、電圧調整器で100Vに合わせてください。  
海外でご使用になられる場合は、当社又は当社のサービス機関にご相談下さい。
- 湿度の高い場所での使用は避けて下さい。  
直射日光の当たる場所や暖房器具の近く、又本器の上に物をのせて通風の悪い状態での使用はトラブルの原因になりますので避けて下さい。
- 湿気の多い場所での使用は避けて下さい。  
精密部品を使用しておりますので、湿気の多い場所での使用や、コーラ等の水の入ったものをケースの上に置くことは避けて下さい。
- 化学洗剤やシンナー類の使用は避けて下さい。  
必ず柔らかい布で乾拭きするようにして下さい。
- ポリウレタンを大きくしたまま電源スイッチをON/OFFしたり、電源のプラグを抜き差しすると、スピーカーに大きな負担がかかり破損するおそれがあります。必ずポリウレタンを0にしてから行って下さい。
- セットを移動する場合には電源コード、接続コードのショートや断線を防ぐ為に必ず電源コード、接続コードを抜いてから移動して下さい。
- スピーカー負荷は4~16Ωです。総合インピーダンスが4Ω以下になるようなスピーカーシステムの接続は絶対にしないで下さい。

〈ブロックダイアグラム〉

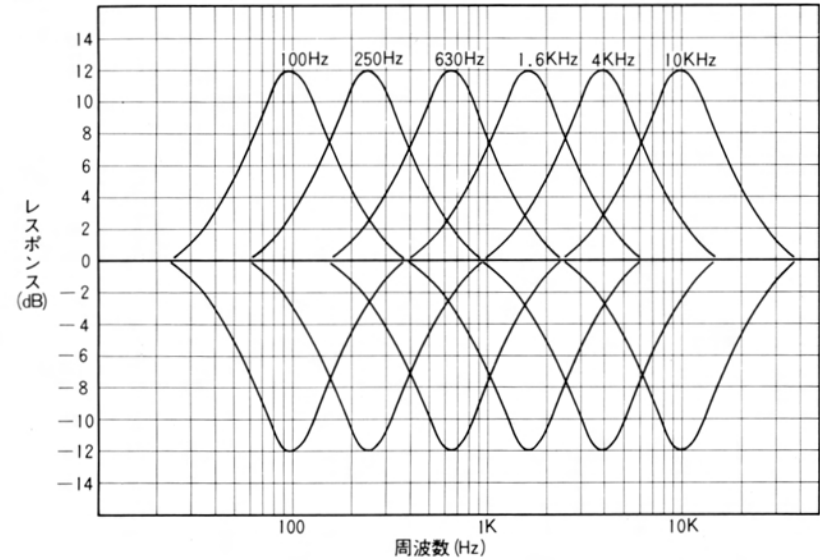


〈特性〉

●チャンネルEQ周波数特性



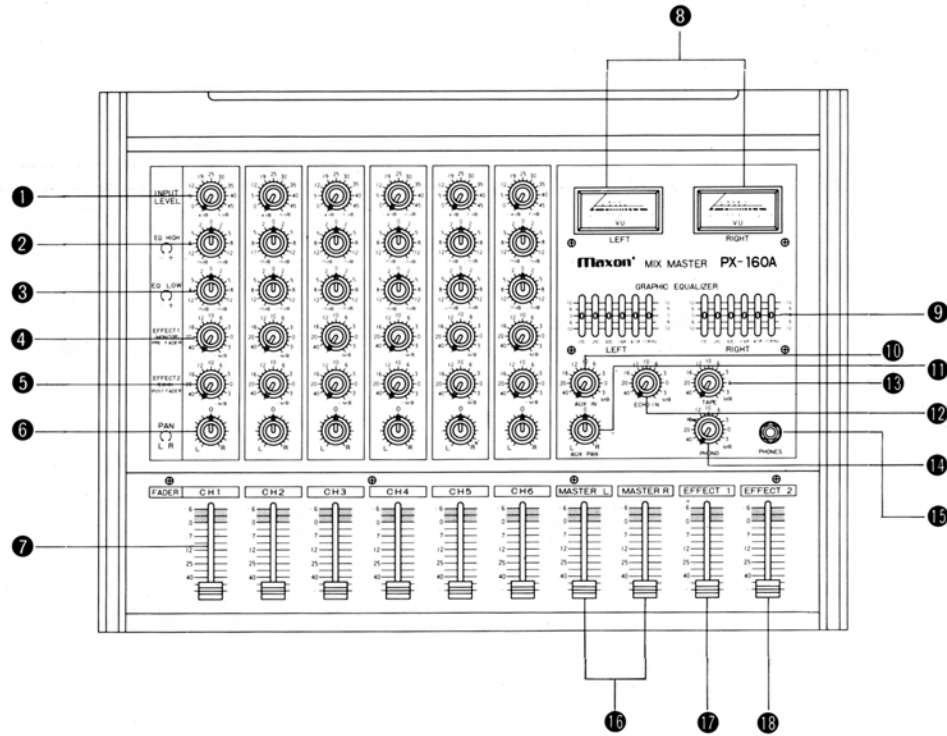
●グラフィックEQ周波数特性



〈保護回路について〉

本機は1/4ワートンにスピーカー保護のための保護回路が内蔵されています。したがって電源スイッチを入れても数秒間は出力が出ませんが、これは電源が入った直後のアンプの不安定な状態からスピーカーを保護する為に保護回路が働いている為です。  
 又なんらかの原因でスピーカー端子に直流の電圧が発生すると、保護回路が働いて音が出なくなります。電源スイッチをOFFにして再びONにしても音が出ないとか、保護回路が働く場合は故障が考えられますのでお買上げのお店がアフターサービスルームにご相談下さい。

〈コントロールパネルの名称と使い方〉



① INPUT LEVEL ボリューム

各チャンネルの入力レベルに合わせるボリュームです。入力レベルが -50dB ~ +4 dB まで連続的に対応できます。入力のレベルに合わせて適正な位置にセットして下さい。

◎ 入力レベルとインプットレベルの目盛の一般的なセッティング例

INPUT LEVELの目盛	用 途
+4 ~ -20dB	テープレッキチューナー等のオーディオ機器
-20 ~ -40dB	電子及び電気楽器
-40 ~ -50dB	一般のマイクロフォン

② EQ-HIGH ボリューム

各チャンネルの高域の音質をコントロールします。周波数は 10KHz に於て ±15dB 可変ができます。0 のポジションでフラットになります。

③ EQ-LOW ボリューム

各チャンネルの低域の音質をコントロールします。周波数は 100Hz に於て ±15dB 可変ができます。0 のポジションでフラットになります。

④ EFFECT 1

ホールドバック用のボリュームです。チャンネルフェーダーの前から信号をとりだしています。①のフェーダーによりコントロールして、EFFECT 1 OUT 端子より信号を送り出します。ステージのプレイヤーにモニターとして送る信号のミキシングボリュームとして使います。

⑤ EFFECT 2

チャンネルフェーダーの後から信号をとり出しています。①のフェーダーによりコントロールして、EFFECT 2 OUT 端子より信号を送り出します。主にエコー等の効果音の機器の使用に使います。又ステージのモニター用としても使えます。

⑥ PAN ボリューム

各チャンネルの信号をL(左)とR(右)にふりわけて音像の定位をさせます。

⑦ CH. FADER

各チャンネルのミキシング量を決定するボリュームです。各チャンネルの音量のバランスを決めて下さい。尚使用しないチャンネルのボリュームは“0”にしておいて下さい。

⑧ VU メーター

左右のチャンネルの出力レベルを表示します。指示値は 0 VU で 40W, +3 VU で 80W です。尚いづれも負荷は 8 Ω の場合ですので、それ以外の負荷の場合は指示値とは異なってきます。

⑨ GRAPHIC EQUALIZER

左右のチャンネル独立した 6 素子のグラフィックイコライザーです。周波数は 100Hz, 250Hz, 630Hz, 1.6KHz, 4KHz, 10KHz で、それぞれ ±12dB 可変することができます。使用する場所及び目的により音場補正又はハウリング対策等に使用して下さい。

⑩ AUX IN

AUX IN からの入力信号に応じてレベルのコントロールをします。有線放送等の入力に使います。使用しない場合はボリュームを“0”にして下さい。

⑪ AUX PAN

AUX 入力信号を左右のチャンネルにふりわけて定位するために使用します。

⑫ ECHO IN

ECHO IN からの入力のレベルをコントロールします。エコーマシン等の入力に使います。使用しない場合はボリュームを“0”にして下さい。

⑬ TAPE IN

TAPE IN からの入力のレベルをコントロールします。テープレコーダの入力に使います。使用しない場合はボリュームを“0”にして下さい。

⑭ PHONO IN

PHONO IN からの入力のレベルをコントロールします。使用しない場合はボリュームを“0”にして下さい。

⑮ PHONES

ステレオのヘッドホン用の出力端子です。パワーアンプの出力をモニターできます。音量はマスターフェーダーにより行います。

⑯ MASTER FADER

各チャンネルフェーダーでミキシングされた信号を全体的にコントロールして、メインアンプの出力をコントロールします。

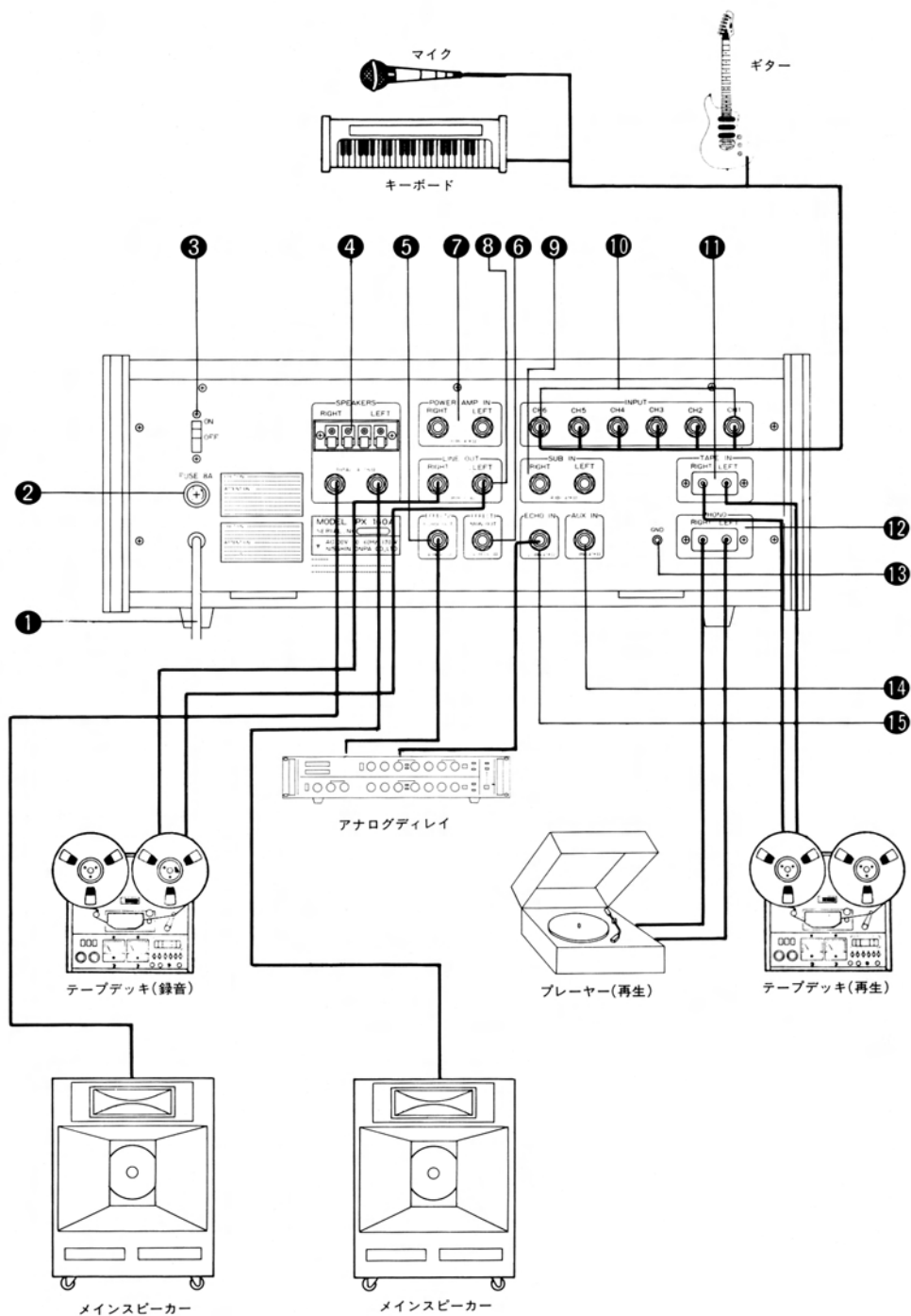
⑰ EFFECT 1 FADER

各チャンネルの EFFECT 1 のボリュームによりミキシングされた信号を全体的にコントロールして、EFFECT 1 OUT の出力をコントロールします。

⑱ EFFECT 2 FADER

各チャンネルの EFFECT 2 のボリュームによりミキシングされた信号を全体的にコントロールして、EFFECT 2 OUT の出力をコントロールします。

〈背面パネルの接続〉



〈背面パネルの名称と使い方〉

①電源コード

AC 100V でご使用下さい。  
本機は、パワーアンプを内蔵していますので、電圧の安定したコンセントをご使用下さい。

②FUSE

8 A 125V スローブロータイプのヒューズを使用しています。もし交換の必要がある場合は必ず AC プラグをコンセントからぬいて規定のヒューズと交換して下さい。  
尚ご使用中のヒューズの断線は使用ミスその他故障等の原因によるものですから、お買上げの店もしくはアフターサービスルームにご相談下さい。

③POWER スイッチ

電源スイッチです。

④SPEAKERS

スピーカーを接続します。  
リード線により接続できる端子とプラグによる接続できる端子が並列になっていますので、スピーカーコードにより使い分けて下さい。  
尚スピーカーの負荷は、スピーカーシステムの合計インピーダンスが 4 Ω 以下にならないようご注意ください。

⑤EFFECT 2 OUT (ECHO OUT)

エコーマシン等の効果音の機器を接続します。  
出力レベルのコントロールはコントロールパネルの EFFECT 2 フェーダーにて行います。

⑥EFFECT 1 OUT (MON. OUT)

ホールバック用のアンプとスピーカーを接続します。  
出力レベルのコントロールは、コントロールパネルの EFFECT 1 フェーダーにて行います。

⑦POWER AMP. IN

本機のパワーアンプのみ使用する場合にこの端子に入力プラグを接続します。  
このジャックにプラグをさすと、各チャンネルからの信号が OFF になります。

⑧LINE OUT

録音用の端子として又はラインレベルで外部に信号をとり出す端子です。

⑨SUB IN

チャンネル増設用の入力端子です。

⑩INPUT

マイクロホン、楽器、オーディオ機器等を接続します。

⑪TAPE IN

テープレコーダーの出力を接続します。  
ピンプラグにて接続します。

⑫PHONO IN

レコードプレーヤーを接続します。  
ピンプラグにて接続します。

⑬GND 端子

レコードプレーヤー等のアース端子と接続して下さい。

⑭AUX IN

有線放送等のモノラル入力を接続に使用して下さい。

⑮ECHO IN

エコーマシンの出力をこの端子に接続して下さい。

〈仕様〉

●コントロール●

●チャンネルコントロール (1CH~6CH)

INPUT LEVEL  
EQ-HIGH, LOW  
EFFECT (1, 2)  
PAN  
CH. FADER

●マスターコントロール

AUX IN AUX PAN  
ECHO IN  
TAPE IN  
PHONO IN  
MASTER FADER (L, R)  
EFFECT FADER (1, 2)  
GRAPHIC EQUALIZER (L, R)  
VU メーター(L, R)

●電気特性●

●SPEAKER OUT

定格出力 110W+110W (4Ω・1kHz T.H.D 0.5%)  
80W+ 80W (8Ω・1kHz T.H.D 0.5%)  
周波数特性 20Hz~30kHz (0<sup>+1</sup><sub>-3</sub> dB・40W・8Ω)  
全高調波歪率 0.2%以下 (1kHz・70W・8Ω)  
混変調歪率 0.5%以下 (70Hz : 7kHz = 4 : 1・40W・8Ω)  
ハム・ノイズレベル -120dB (入力換算)

●EFFECT OUT

最大出力 +18dB  
周波数特性 20Hz~30kHz (0<sup>+1</sup><sub>-3</sub> dB)  
全高調波歪率 0.2%以下 (1kHz・+10dB・10kΩ)  
ハム・ノイズレベル -120dB (入力換算)

●最大利得

SPEAKERS (L, R) 80dB (CH IN→SPEAKER OUT)  
EFFECT OUT (1, 2) 54dB (CH IN→EFFECT OUT)  
LINE OUT (L, R) 54dB (CH IN→LINE OUT)  
AUX IN 50dB (AUX IN→SPEAKER OUT)  
TAPE IN 50dB (TAPE IN→SPEAKER OUT)  
ECHO IN 50dB (ECHO IN→SPEAKER OUT)  
SUB IN 26dB (SUB IN→SPEAKER OUT)  
PHONO IN 80dB (PHONO IN→SPEAKER OUT)

●イコライザー

チャンネルイコライザー { LOW 100Hz ±15dB  
HIGH 10kHz ±15dB

グラフィックイコライザー 100・250・630・1.6k・4k・10kHz ±12dB

- セパレーション -55dB以下 (チャンネル間 1kHz)
- 定格電源電圧 AC100V
- 定格電源周波数 50/60Hz
- 定格消費電力 170W
- 寸法 551(W)×216(H)×564(D)
- 重量 24kg

Maxon®

製品は、厳重な品質管理のもとに生産されていますが、万一運搬中の事故などにもない、ご不審な箇所又は破損などのトラブルがありましたら、お早めにお買い上げいただきましたお店又はアフターサービスルームにお申し付け下さいますようお願い申し上げます。

\*規格及び外觀は改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社 日伸音波製作所